

会議出席報告

以下のとおり報告いたします。

社会教育グループ 主査 石丸 学

日時・場所	令和8年6月17日(水) 18時30分～20時15分 追分公民館研修室A
会議名	令和8年度第2回スポーツ推進委員会議
<p>◆委員出席者…伊藤、藤森、石塚、瀬田川、鳥實、榛、黒木、小山、小坂 [9名] ※小坂委員は19時頃、瀬田川委員は20時頃に都合によりに退席</p> <p>◆委員欠席者…立浪、宮崎、且見 [3名]</p> <p>◆教委出席者…有本、石丸 [2名]</p> <p>1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 議 題</p> <p>(1) 今後の社会体育事業及び関連事業について</p> <p>昨年だと、9月13日(土)で町民登山を企画。定員20名を超える申込みもあったが、熊による事件等の多さを鑑みて中止となった。今年度も状況的に好転はしておらず、町民登山は実施出来ないのではと思っている。後は、何か代替りの事業をやるかやらないか、やるとしたらどんな事業をやるか。</p> <p>→このまま何もしないとシニア層も参加できるような事業が無くなってしまう。代替りの事業はやっていきたい。</p> <p>→まずは今年代替事業をやってみて、それで人の集まりが良くないようであれば、やめるという考えでも良さそう。</p> <p>→そもそもの町民登山が始まった趣旨は?・・・始まりは、追分町時代に推進委員に登山好きが3人くらいいて、それからスタートしている。幅広い年代が参加でき、事業として良いのではないかということ。</p> <p>→予算的にはどうなのか?</p> <p>予算については、元々考えていたSUPが予算計上時に弾かれてしまい、日当旅費の発生しない範囲での町民登山実施前提の12,000円(謝礼2,000円×6名)のみ。日当旅費の発生しない場所としては白老、苫小牧、千歳、恵庭、北広島といった範囲。</p> <p>→モルックやフロアカーリングといった軽スポーツ実施も考えられるが、どこまで人が来てくれるか。</p> <p>→元が町民登山だったことを考えると町外でハイキングみたいなものが良いかもしれない。</p> <p>→ノルディックウォーキングをしている人をよく見かける。町外の景観の良い場所でノルディックウォーキングというのが良さそう・・・スポーツセンターでポールも借りられる。</p> <p>→景観のよいところでウォーキングとなると結局、登山と同じように熊と隣り合わせの可能性も・・・</p> <p>様々な意見をいただき、ノルディックウォーキング 9月26日(土)で実施決定。実施場所の候補は、ウトナイ湖、千歳の青葉公園、恵庭のルルマップ自然公園の3箇所。具体的なコース選定などの案は事務局で作成。案が作成できたらSlack等で推進委員に確認を取りながら最終決定をしていくことが決まった。</p> <p>(2) 協議会・研修会の出席確認</p> <p>協議会・研修会について、もし現時点で出席希望の方いれば確認したい。なお、北海道スポーツ推進委員研究協議会について、第2分科会の発表者に胆振管内が割り当てられており、今回は、苫小牧市が輪番で担当。第4分科会の助言者に小坂委員が指名され、胆振管内事務局(室蘭)よりそのことについて相談メールが先日きた。(理由:リーダー養成講習会に参加経験があり、以前の分科会での発表内容が良かったため、道協議会役員会の中で推薦された。)メール受領後すぐに小坂委員に伝え、快諾いただけたことから、北海道スポーツ推進委員研究協議会に小坂委員と石丸はすでに出席となっている。</p> <p>→以下の通り決定。</p> <p>① 令和8年度胆振管内スポーツ推進委員研修会 *日 時: 令和8年11月17日(土) *会 場: 白老町 *出席者: 伊藤委員長、藤森委員、石丸を予定</p>	

② 令和8年度北海道スポーツ推進委員研究協議会

*日 時：令和8年10月28(水)～29日(木)(1泊2日もしくは日帰り)

*会 場：札幌市

*出席者：伊藤委員長、小坂委員、藤森委員、石丸を予定

北海道スポーツ推進委員研究協議会について、宿泊される場合は各自手配ください。なお、実際の申込み案内が来ている訳ではなく、これで確定ではないので、後から出席したいや逆に都合が悪く欠席したいなどあれば、Slack等を経由してご相談いただければと思う。

(3) 社会体育施設の見直しについて

別紙資料参照。2グループに分かれて10分間の議論。そこで出た意見をまとめて発表。教育委員会からの説明については、概ね賛成。以下委員からの意見

- ・施設を無くすにあたっては、しっかりとしたフォローが出来たら良い
 - ・プールについては、早来プールまでのバス送迎といったフォローがあると良い
 - ・リンクについては、屋内の一般開放日をしっかりと確保していく必要がある(団体予約ばかりで使えないということがないように)
 - ・スキー場については、リフトを動かさないにしても、例えば圧雪などの整備で、町民が滑れるようになっていると良い
 - ・プールについては、利用者数が少ないことや代替えができることから廃止で良いのでは
 - ・リンクについては、シート更新以前に日頃の整備が不足しており、リンクコンディションが悪い
 - ・今回の資料が昨年度に次長から説明のあった時とそれほど変わらない印象。他の意見を聞いた団体からどんな声が挙がったのか、それが資料にあると話が弾むと思った
 - ・町営なので難しい面があるかもしれないが、スキー場を外国人向けにシフトするとかは出来ないか。千歳のノースランドではちょっとした斜面にゴムチューブやバギーなどでそれなりの料金を取ってやっている。外国人が多く来て賑わっていた・・・スキーパトロールの観点でいうと、トラブルがあったときのことなども考えると、スキー場としてよほどの対応ができないと難しい
 - ・スキー場閉鎖後の山の管理について、役場の方でどうするかを考えているか
- 意見については以上

プールについては、バス対応が出来るかどうか検討をしている。屋内リンクは一般滑走が中々できないという話があるので、その部分はスポーツセンターと協議していく予定がある。リンク整備について、苫小牧のようにしっかりと整備をすればと思うところはあるが、そうなってくると今の委託金額では到底出来ない。スキー場については、代替施設がないという問題を認識しており、冬の遊び場として何か用意出来ないか、また、町外スキー場へのバスツアーなどの企画を連盟とも話している。今回皆さまからいただいた意見も基にこれらからの町としての方針を決めていきたい。

そのほか、施設見直しとは別に皆さまにお知らせがある。プールについて、例年委託している業者が出来ないということと、ボイラー不具合やろ過機の水漏れもあり、今シーズンの開設見込みが未だ立たずにいる状況。引き続き開設に向けた準備を進め、開設時期が決まり次第、情報発信を行っていく。

(4) その他

前回の会議で話のあった赤十字救急法基礎講習会について、健康福祉課の案内とは別にスポーツ推進委員で講習を受ける場を設けられるかどうか確認したので報告。消防に頼んで行う場合は無料で出来るが、今回の講習会のような資格証は発行されない。推進員独自での赤十字救急法基礎講習会は、健康福祉課の補助金を上手く使えば無料で出来る可能性がある。ただ、人数は最低10人程度集める必要がある。しかし、今年度は健康福祉課で今回広く参加者を募って、費用負担も求めていることから、無料で独自でやるのは今年については控えて欲しいと言われた。もし、興味のある方は7月11日に保健センターで行われるものが、まだ定員に10名程度余裕があるので、申し込んでいただければと思う。(申込期限7月3日)

そのほか、安平教育フォーラムと地域・教育コーディネーター養成講座についてのチラシ配布。

■ 次回の会議予定

[日時] 10月14日(水) 18:30~

[会場] 早来公民館 会議室1

終了 [20:15]